

## 2026年度(第60次)研究助成応募状況

2026年度(第60次)研究助成は、1月13日に募集を締め切り、計65件の応募がありました。内訳は、下表のとおりです。

本事業は、「広告・広報・メディアを中心とするマーケティングおよびコミュニケーション等」分野における常勤研究者および大学院生を対象に、研究助成を行うものです。助成金の給付に加え、助成対象者が利用可能な消費者調査を実施します。

提出された研究成果は審査を行い、特に優れた研究には「助成研究吉田秀雄賞」を授与します。

本助成では自由課題および指定課題を募集しており、2026年度は以下の3つの指定課題を設定しました。

- ① 消費者との効果的なコミュニケーションを行う方法に関する研究
- ② 広告・コミュニケーション研究やマーケティング研究の新たな方法論の開発につながる他領域における関連研究

### ③ 心と身体に関するマーケティング研究

2026年度の助成対象研究は、下記メンバーによる選考委員会の審査を経て、3月開催予定の理事会において決定されます。

選考委員長	嶋村 和恵	早稲田大学教授
選考副委員長	清水 聡	慶應義塾大学教授
選考委員	青木 貞茂	法政大学教授
選考委員	阿久津 聡	一橋大学大学院教授
選考委員	井上 哲浩	慶應義塾大学大学院教授
選考委員	久保田 進彦	青山学院大学教授
選考委員	里村 卓也	慶應義塾大学教授
選考委員	澁谷 覚	早稲田大学大学院教授
選考委員	白井 美由里	慶應義塾大学教授
選考委員	田中 洋	中央大学名誉教授
選考委員	吉見 俊哉	國學院大學教授

### 応募数(前年度比)

常勤研究者		大学院生		総数(前年度比)
53		12		65(+26)
継続研究数	指定課題数	継続研究数	指定課題数	
35	32	3	8	

### 指定課題の内訳

応募数	部門	件数	指定課題別件数	
40件	常勤研究者の部	32件	指定課題①	11件
			指定課題②	16件
			指定課題③	5件
	大学院生の部	8件	指定課題①	6件
			指定課題②	1件
			指定課題③	1件

## Editor's Note

**若**い頃、本を読むことが楽しくなってきたときに、海外の名作も読んでみようと思って翻訳本を何冊か手に取って読み始めたところ、なぜかまいち自分にしっくりこずに、途中で読むのをやめてしまったことがあった。今回の企画特集を通じて、その理由が少し理解できたような気がした。(切仔麵)

**英**会話で苦労した学生時代。グループでの英会話授業の際、会話の主導権を握ったのは、発音がうまい人でも語彙力が豊富な人でもなく、話す内容が面白い人でした。簡単な単語を並べてもいいので「話したいことがハッキリしている」ことが最も大切だと、たくさんの経験を通して思い知りました。(葡萄)

**韓**国ドラマを通して韓国語のサウンドがすっかり好きになりました。街で韓国の子のおしゃべりを聞くとドラマで観た女優が思い浮かびウットリするほどです。新井一二三先生は中国語を「歌うような言語」と形容します。その新鮮な捉え方を得て、耳にする中国語の色合いが変わったように感じます。(ひろた)

AD STUDIES 2026年3月25日号 通巻95号  
ISSN 2759-565X  
公益財団法人 吉田秀雄記念事業財団  
〒104-0061  
東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル11階  
TEL : 03-6264-1208 FAX : 03-6264-1228  
URL : <https://www.yhmf.jp>

発行人 牧口征弘  
編集長 小林球一  
編集部 岩本紀子、沓掛涼香  
編集協力 プレジデント社  
表紙デザイン 八木義博、藤木倫史郎、岩崎真也(電通) + 北中 陽、山本光流(J.C.SPARK)  
撮影 永倉航介

本文デザイン 南 剛(中曽根デザイン)  
校正 株式会社ヴェリタ  
印刷・製本 大日本印刷株式会社

©公益財団法人 吉田秀雄記念事業財団  
掲載記事・写真の無断転載を禁じます。